



ステルトンライター



私の人形制作は  
行き詰まりを見せ始めていた

結局の所私に出来ることは  
一人芝居が精々で、

完全自律人形の製作には  
決定的な何かが欠けている



時間ならいくらでも作ったと  
言ってしまうばそれまでなのだけど…



別に焦っているわけじゃ  
ないのよね

あら  
何かしら

……うちの猫は  
ネズミ獲りが下手なの



だ"は"た"は"だ"は"だ"は"だ"は"だ"は"だ

魔理沙ったら  
いつもこんな大騒ぎを?

ふふふ...



騒ぎたいのは何も白黒に  
限らないってことよ



ペットの躰も  
大変ねえ



レミィ  
飼い主が悪いの!

全く人間の癖して何故  
ああも血気盛んなのかしら

私は  
トリコグレイだわ





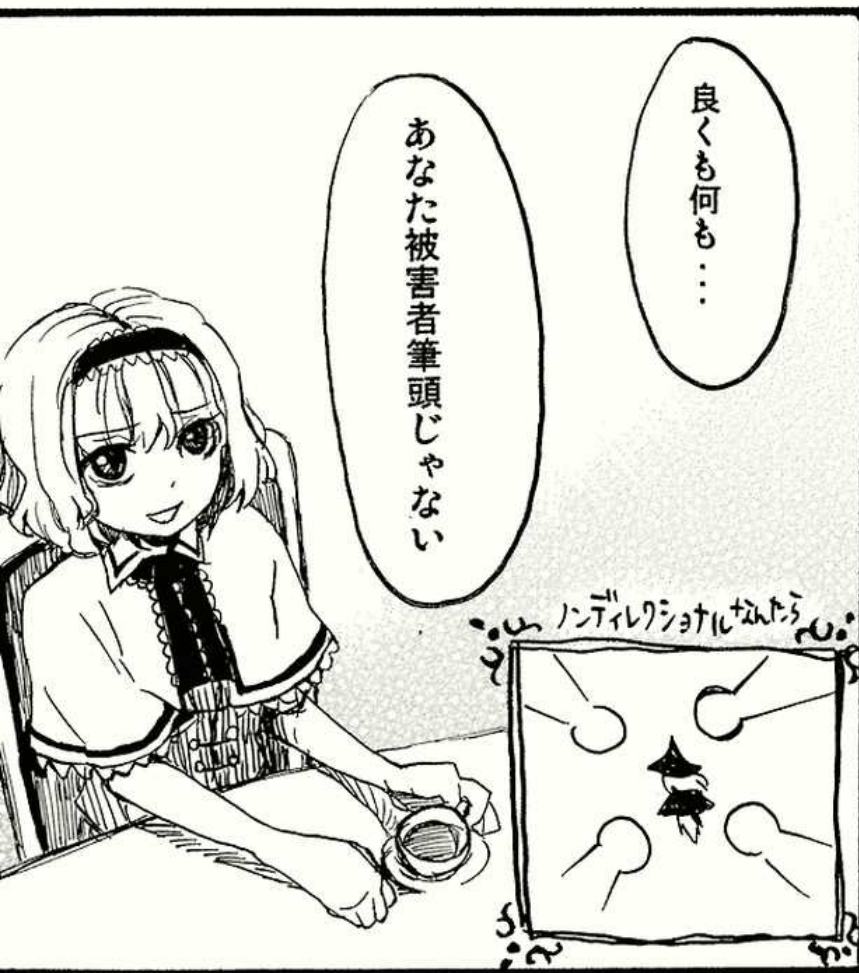
...



ならついでに魔理沙の  
悪癖も何とかしてよ

強盗、恐喝、  
詐欺に詐称、  
非合法ドラッグの精製、

あろうことか  
スペルカードの盗用!



良くも何も...

あなた被害者筆頭じゃない



上行くなー  
コレの積キモ



そう：アリスはあの子の  
手癖をよく思っていないのね





「オリジナルを尊重し、  
そこに更なる  
オリジナリティを  
附加して残す」



それが我々  
魔法使いの誇り――



スペルの応用も

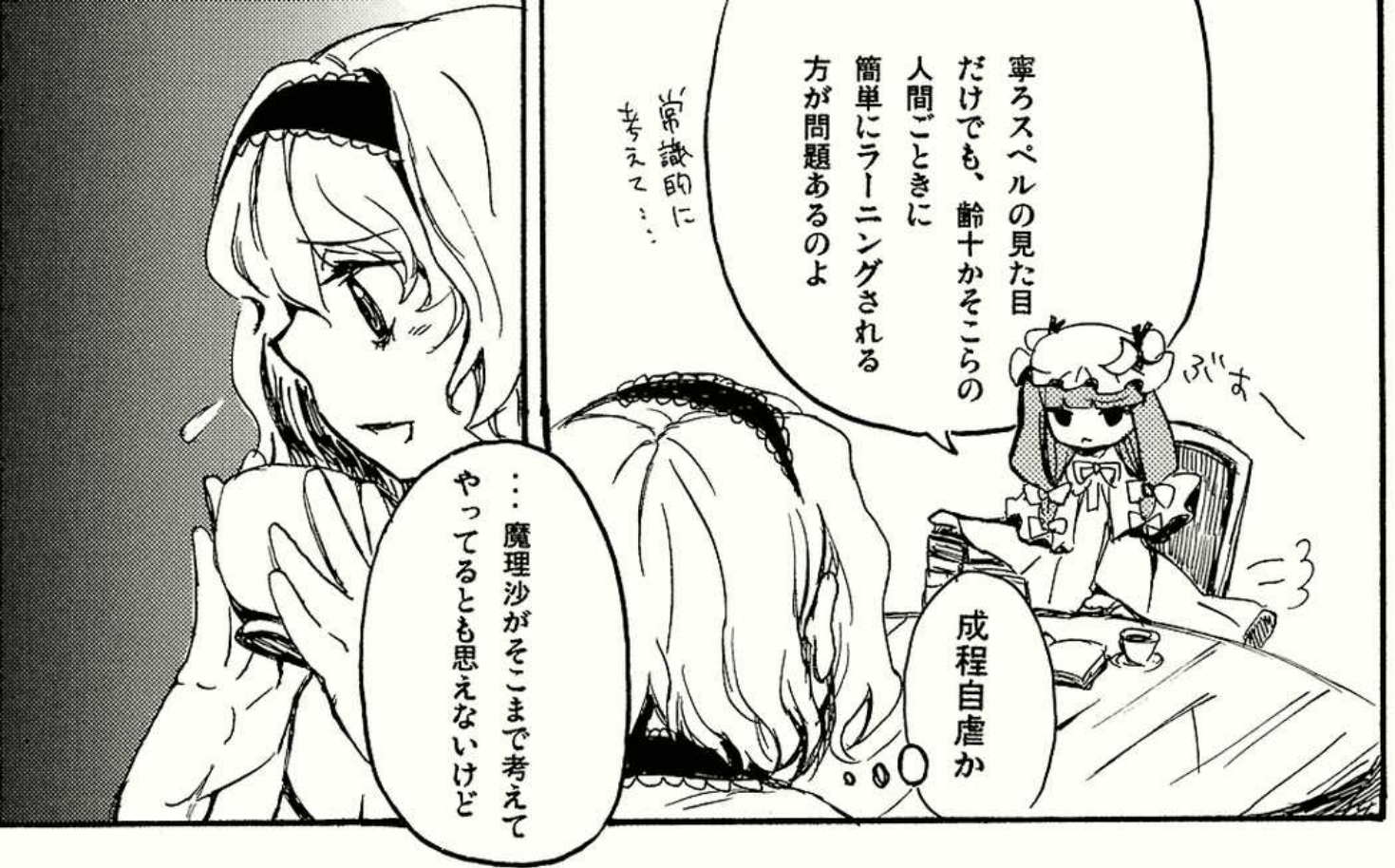
黒衣に箒

あの子のオールド  
ウィッチ・スタイルも

本来なら何も  
おかしくないわ



形式を重んじるのは  
魔術の基本よね  
更に「先入観」「自己暗示」も  
魔術を強化する上で  
重要なファクターになる





気にならないと言ったら  
ウソになる

ウソはあくまでウソ  
うた



まあ——

ひよこ

恋符については私も常々  
疑問に思っていた

アレが本当に「恋」という概念の具現  
だったらとんでもないことだもの



言い換えれば心そのものを  
創造することに近い：

でもペーペーの職業魔法使い如きが  
そんな大魔法を？本当に可能？？

パチュリーは肝心な所で茶を濁すし：

調べるために  
面白いことが  
わかるかもよ



まあ私がミロク  
のはこれ位だよ





ああもう、思考が脱線した

兎に角その技術が手に入れば、

完全自律人形への  
道が見えてくるかもしれない……!!

ひみつ道具1：あの鏡



久々に出したけど使えそうね

対象の半径3ヤード以内  
でないとお効が無い  
のが難点だけど

ひみつ道具2  
とうめいマント  
(某ハリーのアレ)

←以前友理沙に  
拉致られたまま

「目」もしっかり働いてるし

それじゃあ  
観察開始!

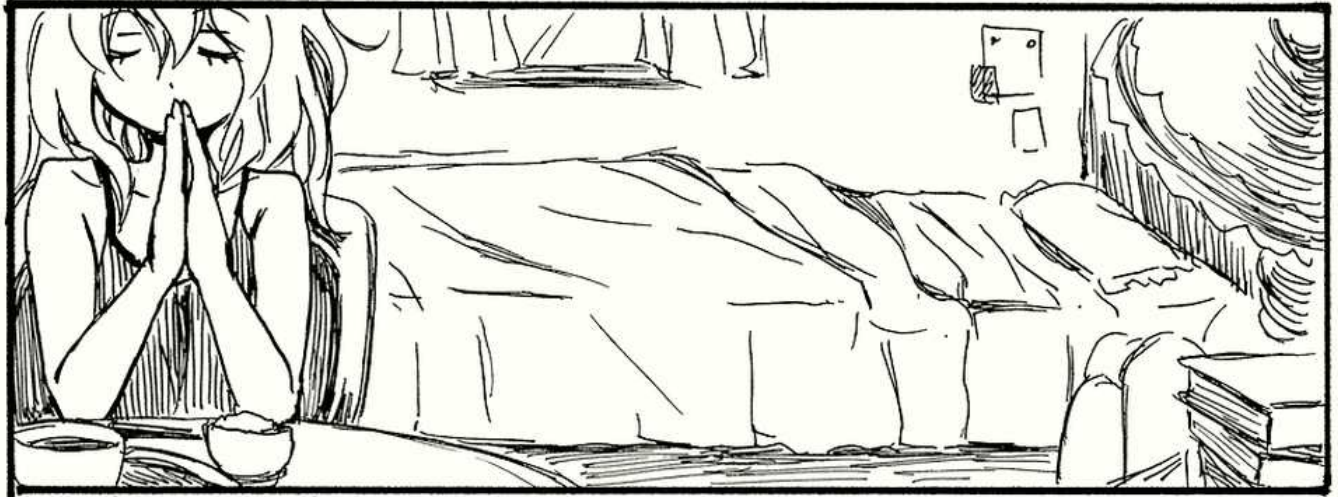


10:30 起床

★前日は研究で夜更かしか？



11:00 粘菌・キノコ類の  
育成チェック



12:10 どうみても昼食

★和食派





13:00

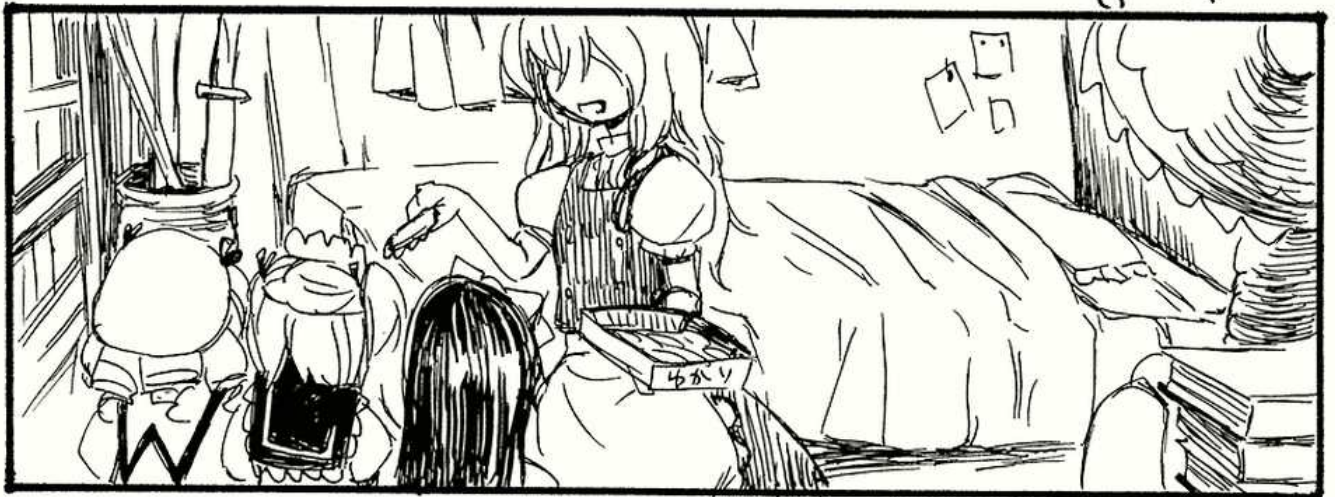
読書



17:35

読書

★本日4冊目に突入



18:30

光の三妖精訪問

★何故か餌付けしてる





今日はもうキノコ燃料すら作らないかも...

ダメね、まるで動きがないわ  
肝心な時にインドアなんだから  
もう...

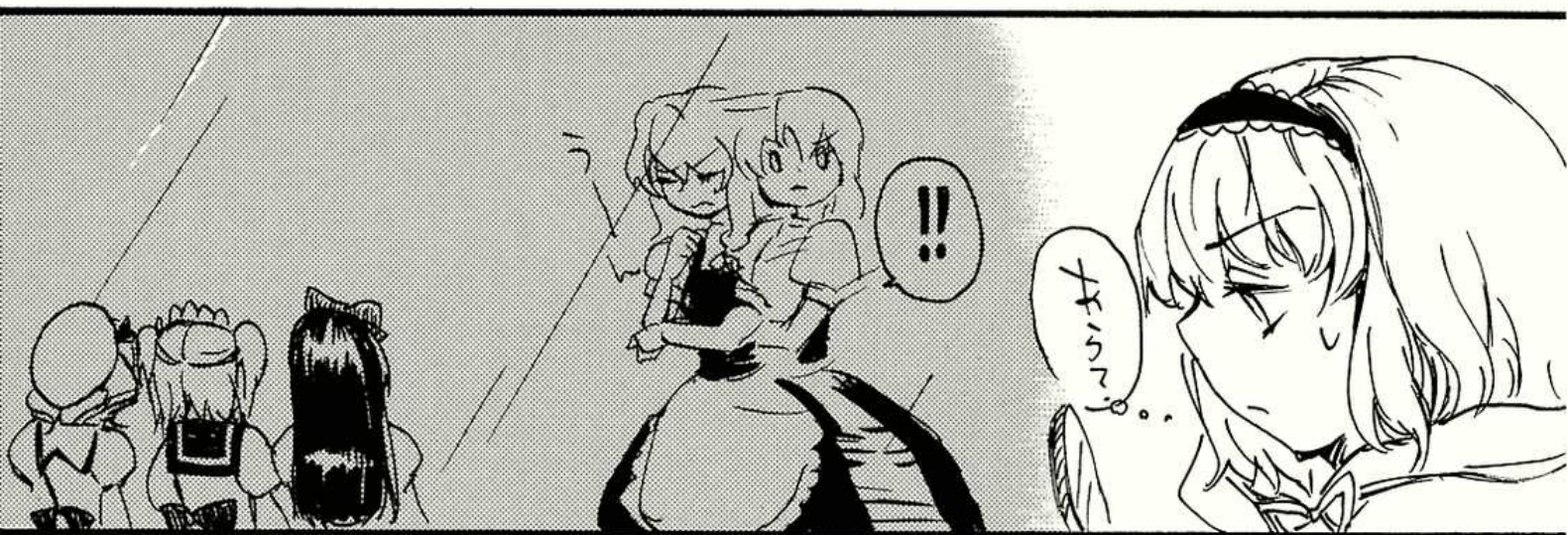
カッ  
クッ

シキリ...



あ、あせった...

ん?



十七人の人形遣い

白屋堂々の  
ストーリーカー行為!



明日の新聞の見出しが  
決まったぜ

何で解ったのよ...



妖精程度の能力でも  
たまには役に立つもんだ

サービスマシーン



ムニムニムニ  
ムニムニムニ

あはははは  
それにしても  
恋符ねえ...



この家・私達  
以外にも人前か妖怪  
の監視か...

動く物の気配を  
探る程度の能力

プライドの高いお前が  
こんなことするくらいだから  
相当行き詰ってるんだらうけど

誰かさんの模倣ばかりの  
あんたに言われたくないわ

むっ

オリジナリティなんて  
他人に譲れないものが  
一つ根幹にあるだけで  
充分だろ？

お前が私に倣うのなら、  
その根幹を揺るがすだけだと  
思うけどなア

解った風な口利かないで

そんなの屁理屈よ

どうしても足りないのよ

木偶に「心」を  
生み出せるだけの  
決定的な何かが……！

…まあ

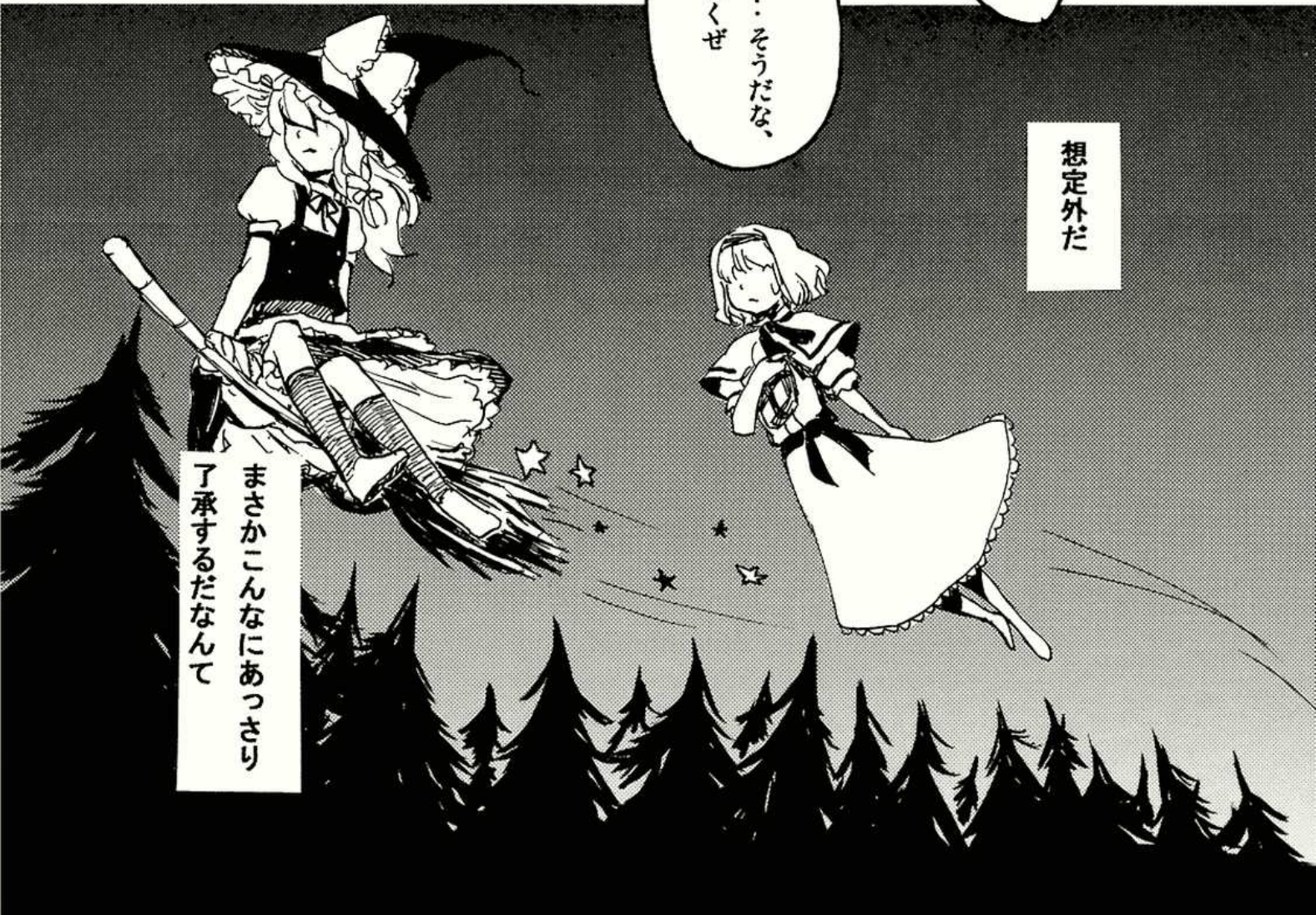
アリスがそれ  
でいいのなら…



話は道すがら

報酬は……そうだな、  
考えておくれ

想定外だ







アリスは

マスタースパークの  
原理を知ってたっけか

…まあ一応



アレは元々  
風見幽香のスペルでなあ



実は火力自体は  
ミニ八卦炉ひとつで  
充分なんだ

火炎放射のパワーは  
申し分ないし、  
茸の燃料もいらぬ



ん？

いや何でも

あなだけ  
自分の十八番  
扱いておいて…



そのマジックアイテムの  
いち性能に過ぎない能力を  
「魔砲」足り得てるものが...

恋、だとも言うの？



動機は至って単純だね  
「魔法をより強力にする力はナニか」



術者の精神状態が  
魔術の効果に影響するのは  
よくあることだ

それなら感情そのものを  
魔力に変換することも  
可能なのではないかと…

様々な感情に身を委ねた私は  
試行錯誤の末…自分でも  
知らぬ内に、とんでもない怪物に  
行き着いてしまった

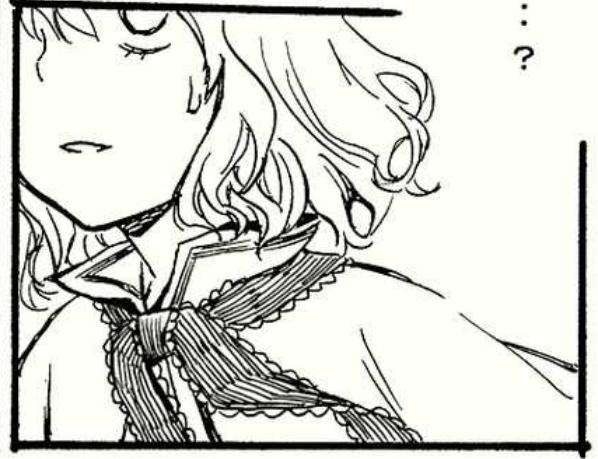
あらゆる感情を内包し、  
あらゆる属性に左右されず、  
不安定で一方的で、  
でも最高に強力

憎悪よりも、悪意よりも、  
どこまでも凶暴な感情の渦

それが恋だよ



あれ……？



へ……

へえ、

何だろう



ロマンチストのあんた  
らしくないわね

この違和感は

……



まるで

絶望してるような

恋は罪悪だとしても  
説きたいのかしら？

後悔してるような

や雷踏んだ……





だって、恋は幻想じゃないもの



あんなに苦しいのに、

あんなに醜いのに、

皆恋をせずにはいられないのよ

「こゝ」  
そと  
幻想郷でも外界でも

あんなものを私から  
盗めるだけの覚悟と矜持が、  
貴女にあるの……？

ヒトガタにばかり  
拘ってる貴女が

まりさ……

あるのならどうぞ何なりと……  
喜んで教えて差し上げるわ  
魔界の姫君

結界をも越える  
絶望と恋の力を

魔理沙!!

ああ、何で忘れていたんだろう



なあに？



流石に今日はお喋りが過ぎたわね

友人とは言え些か無用心だわ

ふふ、聞いてきたのは  
そっちなのに……  
変なアリス

でも——

この子は

アリスが怖がってるから  
やめたげる。



知らないほうが幸せなことって  
きつと、ずっと多いのよ

本物の魔女だったのに





知らないフリをしていたんだ、新しい関係に甘えて





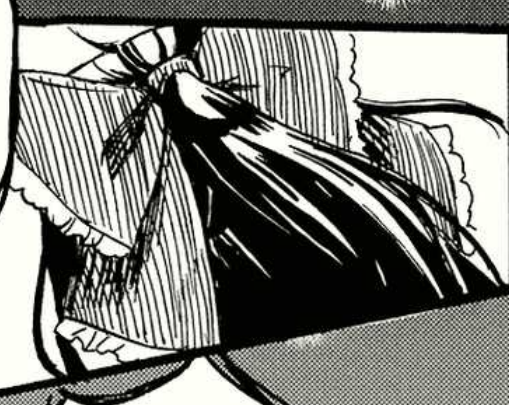
あの頃の事を思い出さないように





あんた私が大事に  
取って置いた  
煎餅食べたわね!

今日と言う今日は  
許さない……!!



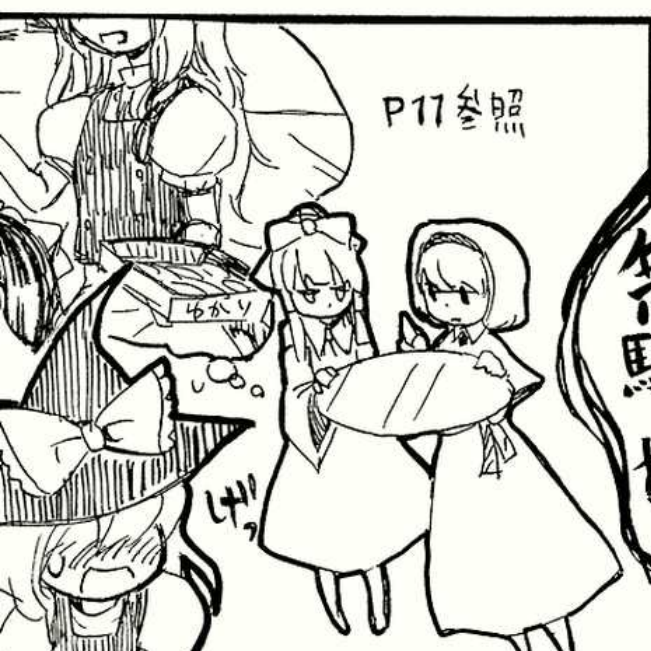
紫が外界から  
持ってきた  
貴重なヤツだった  
のにー!!



女のオ



あー?  
何だよそれ

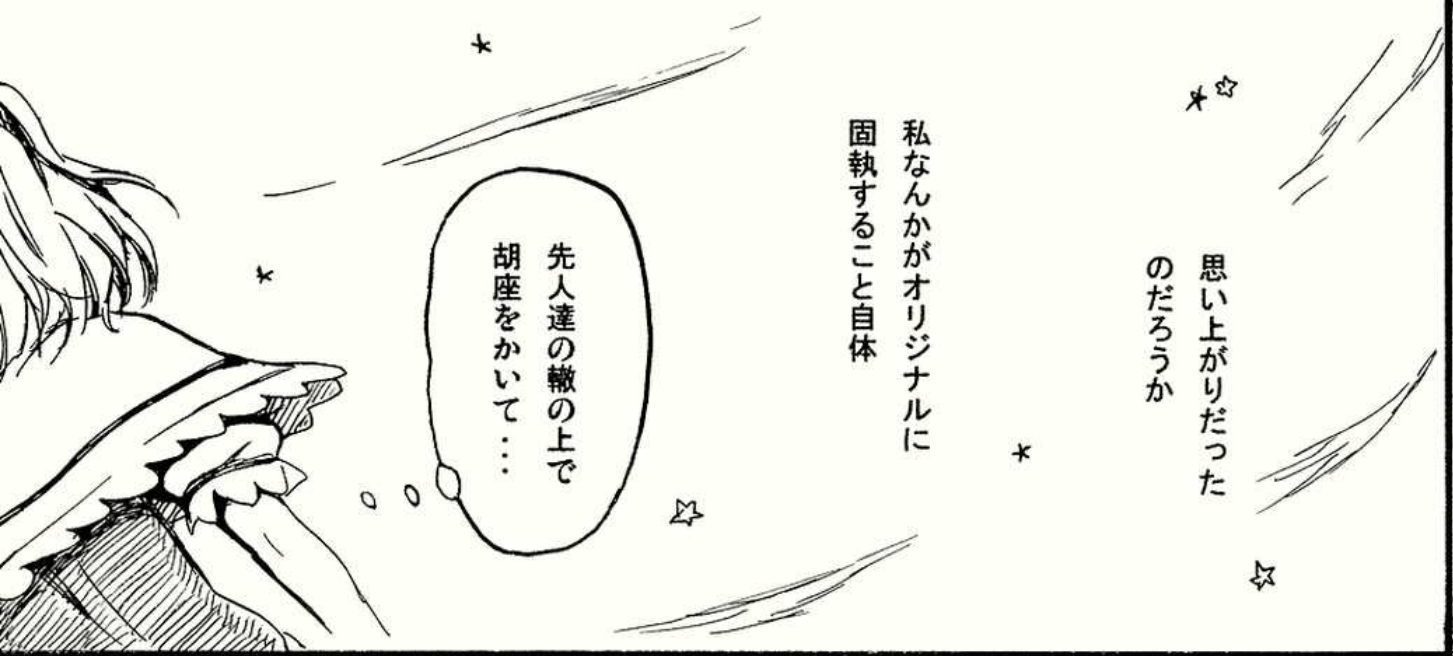


P17 参照



無駄な女





思い上がりだった  
のだろうか

私なんかオリジナルに  
固執すること自体

先人達の轍の上で  
胡座をかいて…



結局、自分が何故こんなに  
焦っているのかさえ—

いや、



…ばか

違う、違う

あの時彼女はたしか…

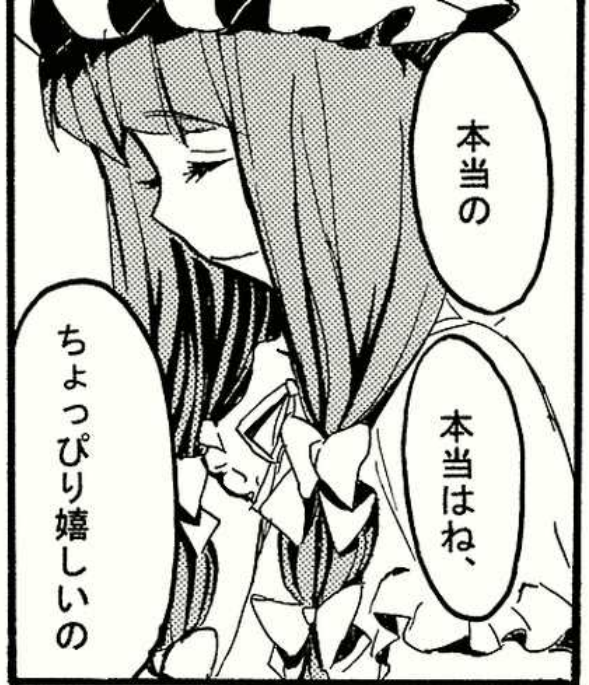
そうね、

貴女はまだ若いから  
理解しがたいかも  
しれないけれど





私の魔法はあの子の中で  
「模倣すべきオリジナル」として  
残ったのよ  
密室で百年埃を被っていたのに



本当の

本当はね、

ちよっぴり嬉しいの



最大級の賛辞に  
等しいわ

こんなこと、到底  
魔理沙には言えないけれど

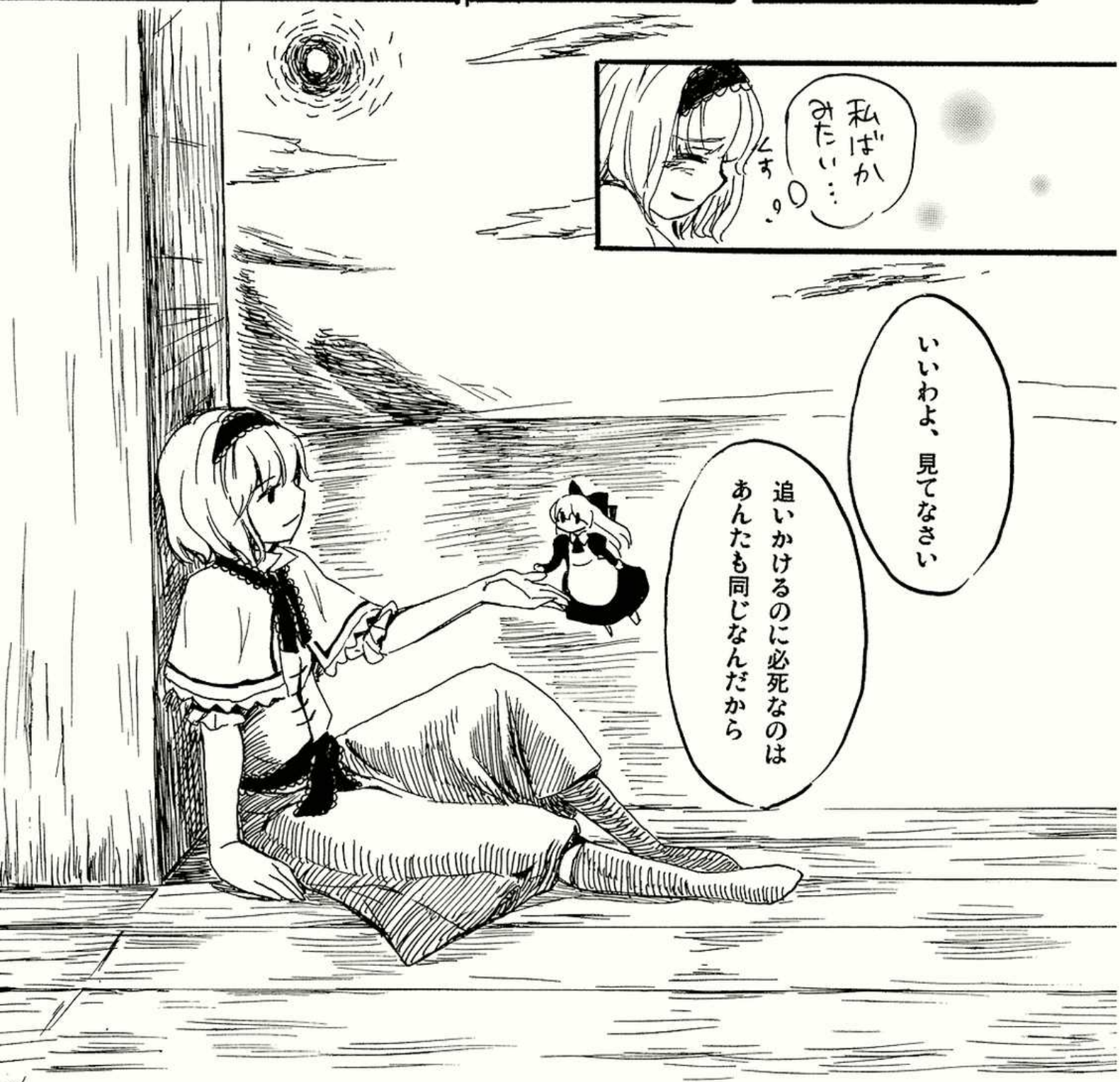
羨ましかっただけなんだ

焦ってたんじゃないわ

私

ああ、何だ





何度でも追い詰めて

絶対に盗み出してあげる

私なりのリスペクトで以って、ね



END.



## \* あとがき \*

はじめまして、matilda と申します。魔理沙だいすきです。

この度は「スケルトンライアー」をお手に取って頂き有難うございます。

いかがでしたでしょうか。初の東方本がこんなイミフ俺設定満載の漫画で申し訳なく思います…。

これアリマリだと言って信じてくれる人がどれだけいるのだろうか。寧ろレイマリ。表紙詐欺？

軽く解説などを・・・

この作品、特に魔理沙は旧作の設定をベースにしています。いわゆるうふふ魔理沙。

失礼ながら旧作の知識は薄いのですが、調べれば調べるほど魔理沙の脳内設定に深みが…。

実際の win 版魔理沙と旧作魔理沙は口調や外見が違うだけで性格自体に大差は無いと

思うのですが、魔理沙の二面性を描くのは大変楽しかったです。

魔理沙のラーニング癖に関して、作中儚月抄でのパチュリーの発言を引用していますが、個人的には「二次創作と似たようなもの」だと解釈しています。

外見や性能を似せていても、本質は違うと言いましょうか。魔理沙の場合恋符が根幹です。

オリジナリティは枯渇したわけじゃなく、

あらゆる人がオリジナルだと確信しているものにもベースは存在しますよね。

どうせやるなら常時パクリの常習犯くらいの心持で行きましょうねという感じで。

魔理沙の言いたかったことはそんなんかな…と。お前そんなに偉いのか。

決してアリスを拒絶しているわけではないので悪しからず。

自分のトラウマにアリスを巻き込みたくない、というのが強いと思います。

魔理沙が精神的優位に立ってるアリマリって少ないので挑戦してはみたものの難しかったですね。

魔理沙→霊夢は確定でも、アリス→魔理沙は恋愛感情までに至っていないかもしれません。

正直推敲が足りず描きたいことを詰め込みまくってしまいました。

この話の基礎になる魔理沙の捏造過去話の構想はあるので、そちらでリベンジしたいです。

でもとりあえず次は延々らぶらぶちゅっちゅしてるような頭悪い咲マリでも描きたい…な…

地霊殿と緋想天の魔理沙は本当にアホの子でかなりわんだ。ギャップがひでえ

では、長くなりましたがこの辺で。

2008, 06, 15 matilda

スケルトンライター / MATILDA

発行：2008.06.15 (サンシャインクリエイション 40)

Web：<http://matilda666.blog.shinobi.jp/>

Mail：[laika\\_11@hotmail.co.jp](mailto:laika_11@hotmail.co.jp)

印刷：あかつき印刷様

無断複製・転載・ネットオークション禁

Thanks: Sadano, Kyon, Hiro





東方Project fan book No.1  
2008.06.15 MATILDA Presents.